

掲載資(史)料所蔵者・協力者・機関(敬称略)

神奈川県真鶴町

青木春江

朝倉敏治

小澤映二

川邊昭治

五味源太郎

谷平賢治

田廣義一

半田浩一

松本敏正

森正利

横山和司

真鶴グランドホテル

真鶴町教育委員会

真鶴町役場

真鶴町立若小学校

真鶴町立真鶴小学校

貴船神社

発心寺

瀧門寺

八木下正雄

本多康宏  
小田原市史編さん室  
小田原市立図書館

横浜市

神奈川県立金沢文庫

神奈川県立文化資料館

神奈川県立埋蔵文化財センター

柏木ヒサエ

須藤徳子

横須賀市  
故赤星直忠

湯河原町役場

鎌倉市

円覚寺

藤沢市  
福原新一

東京都

国立国会図書館

東京大学史料編纂所

徳川林政史研究所

静岡県韋山町

柏木俊孝

札幌市

北海道立文書館

清水市

片平信弘

名古屋市

蓬左文庫

京都市

稻葉神社

田邊陸夫

和歌山県下津町

田廣良知

町史編さん関係者（平成5年3月現在）

町史編さん委員会

委員長青木潔（助役）

副委員長 遠藤 勢津夫（教育長）

委員藤田和雄（専門員）

同川嶺勝

同物固蟄清（字譜續騷者）

同向山堅弭同

同上

同 同  
口 口  
跔 跔  
𠙴 𠙴<sub>1</sub>  
立 立

前 爰 長 谷 一 邦 佐 賀 長

同文周清台（副參議長）

同日以是書付之

卷之三

卷之三

町史編集委員会

委員長  
藤

副委員長 川

委員會

同  
権

同上

同 漢

同  
源

同 同  
中 月

同 日

1

執筆委員

湯川 悅夫（神奈川県立大井高等学校教諭）

池上 裕子（成蹊大学助教授）

馬場 弘臣（日本児童教育専門学校非常勤講師）

椿田 卓士（日本近世史研究者）

土井 浩（平塚市博物館学芸係長）

川崎 勝（日本近代史研究者）

藤田 和雄（神奈川県立小田原高等学校教諭）

町史編さん準備委員会（昭和62・10・8～63・3・31）

委員長 米谷 輝一郎（助役）

副委員長 牧岡 靖治（教育長）

委員 平井 敏正（文化財審議委員会議長）

同 遠藤 勢津夫（文化財審議委員）

同 川口 仁齊（同）

同 中路 倘平（同）

同 松本 敬（郷土を知る会会长）

同 吉之助（住民課長）

同 青木 和男（企画調整課長）

同 鈴木 智士（企画調整係長）

資料調査員

櫻井 光夫（岩地区）

川邊 昭治（真鶴地区）

元資料調査員

青木 重春（真鶴地区）

二宮 康裕（真鶴中学校）

鳥居 泰一郎（真鶴小学校）

鈴木 洋一（岩小学校）

事務局

総務担当参事 青木 啓

企画調整課長 松本 吉之助

企画調整係長 金子 寛幸

主任主事 原信行

嘱託員 湯本 満

## あとがき

翌六十三年四月、町史編さん委員会が発足し、基本構想・事業計画（二点）、編集執筆委員、資料調査員の委嘱等、比較的順調に進みましたのも、隣町湯河原町をはじめ小田原市・南足柄市・伊勢原市・寒川町ほかの御教示に負うところが少なくありません。ところが途中、総括専門員兼執筆委員の内田哲夫氏が急逝され、事業の進捗が危ぶまれましたが、幸い日ならずして後任を得、予定どおり平成二年度に『真鶴町史資料目録』四冊を、また『真鶴町史 資料編』『真鶴町史 通史編』各一巻も、それぞれ当初計画より延引しても一年以内に完結できる見通しが立つようになりました。

なお『資料目録』補冊を平成五年度に刊行する運びですが、これらに収録された資料概数は、町議会関係五四〇〇点、町行政記録・文書関係二万六九〇〇点、町内外の個人・機関所蔵資料一一〇〇点、計三万三四〇〇点にのぼります。本書にはこの中から精選された三六〇点余（考古資料は別）を掲出し、読みやすく親しみのもてるよう構成してありますので、当町の歴史資料にはじめて触れられる方々にも、通史の脈絡をたどりつつ味読していただけると思います。

おわりに、事業発足以来絶えざる御支援を賜った真鶴町教育委員会、文化財審議委員会、郷土を知る会、各市町史

編さん室、ならびに貴重な資料物件を開示または提供くださった所蔵者・機関各位に対し厚く御礼申し上げます。

平成五年三月

真鶴町企画調整課企画調整係

真鶴町史 資料編

平成五年三月三十日発行

発行 真鶴町

〒259-02  
神奈川県足柄下郡真鶴町岩井西四番地の一  
電話 ○四六五(六八)一一三一(代表)

印 刷 第一法規出版株式会社

〒107 東京都港区南青山二丁目一一番一七号  
電話 ○〇三(三四〇四)一一五一(代表)